

ISO 22753 : 2021

Molecular biomarker analysis - Method for the statistical evaluation of analytical results obtained in testing sub-sampled groups of genetically modified seeds and grains - General requirements

分子生物指標分析-遺伝子組換えされた種子及び穀物のサブサンプリンググループテストにより得られた分析結果の統計的評価のための方法-一般要求事項

1. 規格の概要

当該国際規格（IS）は、種子及び穀物の試験サンプルに含まれる遺伝子組換え体（GMO）をグループテスト法で半定量的に検出するための手順及び一般要求事項を規定する。当該分析法では、試験サンプルのうちの定められた数の穀粒が1つの「グループ」としてみなされ、あらかじめ定められた複数のグループから個々に定性的に検出された結果に基づき、GMO量が統計的に評価される。

2. 検討状況

2017年7月に新業務項目提案が承認され、2021年8月に初版が発行された。

3. 規格の構成（仮訳）

まえがき

1 適用範囲

2 引用文書

3 用語及び定義

4 原理

4.1 一般

4.2 種子/穀物の用意

4.3 種子/穀物グループ中のGM種子/穀物の定性分析による検出方法

4.4 統計的評価

5 試薬

6 器具及び装置

7 実験計画

7.1 一般

7.2 一段階実験プラン

7.3 二段階実験プラン

8 定性手法

8.1 一般

8.2 基準

9 解釈

10 結果の表現

10.1 種子/穀物中の許容/棄却基準の分類

10.2 種子/穀物中の分子生物指標レベルの推定

11 実験結果

付属書A 用語及び定義比較表

付属書B 種子/穀物サンプル中のGMO含有評価方法の実施

付属書C 種子/穀物中のGM検出実験の検出限界推定

付属書D 最大グループサイズの実験的決定

参考文献